

令和 2 年度決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

農林水産部

目

次

I	令和2年度農林水産部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	7
III	歳入歳出決算額	30
1	一般会計決算額	30
(1)	歳入決算額	30
(2)	歳出決算額	31
2	特別会計決算額	32
(1)	歳入決算額	32
(2)	歳出決算額	33

I 令和2年度農林水産部主要施策の成果の概要

本県の農林水産業は、就業者の高齢化・減少による担い手不足，経済グローバル化の進展による競争の激化，新型コロナウイルス感染症の影響や頻発化・激甚化する自然災害への対応など様々な課題に直面している。

こうした状況の中，先端技術を活用した「スマート農林水産業」の実現に向けた取組みや，「徳島ならではの」強みを活かした世界市場へ挑戦する「経済グローバル化対策」を展開するとともに，大規模災害を迎え撃つ「農山漁村地域の強靱化」に向けた「14か月・県土強靱化加速予算」により，「攻め」と「守り」の施策を重点的に推進した。

これらをはじめ，「徳島県食料・農林水産業・農山漁村基本計画」に盛り込んだ施策を着実に実行し，「人を育む」，「生産を増やす」，「マーケットを拓く」の好循環による所得向上を生み出すことにより，「もうかる農林水産業の実現」を図った。

また，補正予算の編成により，新型コロナウイルス感染症対策として，本県農林水産業関係者の「業と雇用」を守るための資金繰り支援や需要創出等の切れ目ない支援を実施するとともに，県内外における高病原性鳥インフルエンザの発生を受けた発生防止，まん延防止のための緊急対策を行った。

1 人を『育む』 一次代を担う人材への投資

(1) 農林水産業の担い手育成及び確保

「とくしま農林水産未来人材スクール」を核に，農林水産業の魅力や各アカデミーの研修内容について，効果的な情報発信を行うとともに，農業・林業・漁業が一体となって，新規就業者の育成や女性，アクティブシニアなど多様な担い手の就業・定着までを総合的に支援した。

(スマート林業課，水産振興課，農林水産総合技術支援センター)

(2) 農業の担い手育成及び確保

現場のニーズや新たな技術習得に対応したリカレント研修体系の強化を図るため，アグリビジネスアカデミーを再編し，施設園芸における最先端の環境制御技術を習得するコースを新たに開講するなど，実践力の高い人材の育成に努めた。

また，国の「農業次世代人材投資資金」の活用促進やインターンシップの充実，農業法人等への技術習得研修の支援を通じて，新規就農者の育成・確保に努めた。

さらに，6次産業化をはじめ，女性の視点を活かした経営の多角化への挑戦を支援し，女性農業者の活躍を促進するとともに，障がい者と農業者のマッチング促進，アクティブシニアのリカレント教育，外国人の雇用促進など，多様な人材を活用した労働力確保の支援に取り組んだ。

(農林水産政策課，畜産振興課，農林水産総合技術支援センター)

(3) 林業の担い手育成及び確保

現場の即戦力を育成する「とくしま林業アカデミー」での担い手の育成・確保に努めるとともに，フォレストキャンパスを活用した小中学生向けの出前授業・高校生に対する実践研修の実施，大学生に対する研究フィールドの提供など，林業就業者の裾野を広げる取組みを進めた。

また，木材利用創造センターにおいて，実践的な技術研修や資格取得を支援し，就業者の技術力向上を図った。

(スマート林業課，農林水産総合技術支援センター)

(4) 水産業の担い手育成及び確保

誰もが徳島の漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」において，マリンサイエンスゾーンが有する人的・物的資源を活用しながら，浜を支える意欲ある担い手の育成・確保に取り組んだ。

また，オープンキャンパスの開催や県内高校生等による「徳島の漁業応援隊」の養成などを通じ，本県の漁業や水産物の魅力を若年層に発信

するとともに、新規就業者からベテラン漁業者まで、全ての漁業者を対象に、漁業就業の段階に応じた研修を実施した。

(農林水産政策課、水産振興課)

(5) 農林水産関係団体の組織強化と指導の実施

活力ある農林水産関係団体を育成するため、各団体が主体的に取り組む組織再編の支援及び経営基盤の強化を促進した。

(農林水産政策課、スマート林業課、水産振興課、農山漁村振興課)

2 生産を『増やす』－市場ニーズや地域特性に応じた生産振興－

(1) 水田農業の振興

活力ある多様な水田農業の実現を図るため、高温耐性品種「あきさかり」の生産拡大や規模拡大に向けたスマート技術の導入支援による競争力強化、県産酒米を100%使用した地酒ブランド「阿波十割」の展開による酒米の生産拡大など、需要に応じた「徳島ならではの」米づくりを推進した。

また、「経営所得安定対策」を活用し、耕畜連携の強化による飼料用米の地域内流通の促進、海外市場向け米・加工用米等の供給拡大に取り組むなど、水田のフル活用による経営の安定化を図った。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課)

(2) 園芸農業の振興

本県園芸産地の生産振興を図るため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決に向けた取組みの実施により、園芸産地のリノベーションを推進し、園芸品目の生産拡大を図るとともに、タデ藍栽培における省力化技術の普及や生産体制の整備支援により、本県伝統の藍の生産・利用拡大の推進を図った。

また、「とくしまブランド推進機構」をはじめとする関係機関と連携し、関西・首都圏の消費者ニーズを踏まえ、野菜の新品目・新作型の導入支援により、マーケットイン型産地づくりを推進した。

さらに、新型コロナウイルス感染症拡大により県産高収益作物の販売額が大きく低下する中、園芸産地の維持・発展を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、施設果樹産地における次期作への取組み支援や、県産花きの需要喚起に向けたフラワーアレンジメントの展示及びPRを実施した。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課)

(3) 畜産業の振興

「阿波尾鶏」，「阿波牛」，「阿波とん豚」の増産・販路拡大，海外展開を見据えた「畜産GAP」や「農場HACCP」の認証取得の支援，「JGAP家畜・畜産物」等を要件とした県産牛肉のプレミアムブランド「とくしま三ツ星ビーフ」の認定など，国内外の需要を取り込むための環境整備を図った。

また，グローバル化に対応し，本県畜産業の国際競争力を高めるため，肉牛の肥育経営から繁殖肥育一貫経営への転換など経営転換による収益性の向上や家畜の能力改良による生産性の向上等を支援するとともに，飼料自給率向上対策の推進や畜産バイオマス利活用の促進により，畜産経営の安定化を図った。

さらに，新型コロナウイルス感染拡大の影響による，畜産物の国内外の需要減少により，畜産農家の経営状況が懸念されている。こうした状況から，国の補助事業や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し，需要拡大につながる事業を実施した。

(農林水産政策課、畜産振興課)

(4) 林業及び木材産業の振興

本格的な利用時期を迎える森林資源を背景に、これまで取り組んできた「林業プロジェクト」の更なる展開による県産材の増産と林業の成長

産業化を図るため、「航空レーザ測量」により森林資源を3次元で把握し、そのデータを基に路網整備や搬出間伐を効率的に進めるとともに、主伐にも対応した先進林業機械の導入や大径化する県内の森林資源を有効活用するため、木材加工流通施設等の整備について支援を行った。

また、木育を推進し、県産材の魅力を発信するため、徳島の木をまるごと体感できる新たな木育の中核拠点「徳島木のおもちゃ美術館」の整備を進めるとともに、新型コロナウイルス対策として、影響を受けた林業・木材産業事業者に対し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、雇用の創出や滞留原木等の解消を進めた。

(農林水産政策課, スマート林業課, 森林整備課)

(5) 水産業の振興

本県水産業の潜在的な可能性を最大限に引き出し、「もうかる漁業」の実装による「水産業の成長産業化」を図るため、水産資源の持続的な利用と増産に向けた資源管理型漁業や栽培漁業を推進するとともに、漁協等が行う共同利用施設や機器の整備など、漁業生産力を強化する取り組みを支援した。

また、操業の効率化や省力化に向け、AI等の先端技術を活用したスマート水産業の推進を図るとともに、「はも」や「鳴門わかめ」をはじめとする県産水産物の更なるブランド力向上や消費拡大に向けた食育・魚食普及等の取り組みを推進し、競争力の高い産地づくりを目指した。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大による「魚価の下落」、「在庫の滞留」等により、厳しい局面にある漁業関係者の事業継続を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、県産水産物の「需要喚起」に向けた「販売促進活動」等を支援した。

(農林水産政策課, 水産振興課)

(6) オープンイノベーションの加速

「アグリ」、「フォレスト」、「マリン」の各サイエンスゾーンにおいて、産学官の連携によるブランド力や生産力向上のための新品種・新技術の開発に加え、IoT、AIなどの先端技術を活用したスマート農林水産業を推進し、未来を切り拓く新たな技術革新の創出を加速した。

また、産地での実証を通じて、開発された技術の現場への速やかな普及を図るとともに、産地が抱える課題について、生産者や関係団体と一体となって迅速な解決に努めた。

(農林水産総合技術支援センター)

(7) 安全・安心な食料の安定的供給

SDGsの達成に貢献する「エシカル農産物」の需要拡大に対応するため、生産者の国際水準GAP取得支援や、有機質資源の循環利用により、化学肥料・化学農薬の使用量を低減する、有機農業等の環境保全型農業を推進した。

また、農薬の適正使用の徹底、放射性物質検査の実施、農林水産物の処理・加工や流通施設の整備等により、安全で安心な食料の供給体制を整備した。

さらに、畜産業に大きな影響を及ぼす高病原性鳥インフルエンザ、豚熱などの家畜伝染病発生リスクが高まっていることから、飼養衛生管理基準の遵守指導、関西広域連合や四国各県との連携強化等を推進し、家畜伝染病の発生予防・まん延防止に向けた危機管理体制を強化した。

特に、高病原性鳥インフルエンザについては、令和2年度、初めて県内養鶏農場において発生したことから、発生農場等における養鶏の殺処分や消毒等適切な防疫措置を実施し、懸念される同病のまん延等を防止した。

(農林水産政策課, もうかるブランド推進課, 畜産振興課, 農林水産総合技術支援センター)

(8) 食育・地産地消の推進

徳島の豊かな地域食材を活かし、健全な食生活の実践や野菜摂取量アップを図るため、関係機関や県民との協働により、日本型食生活や郷土料理をはじめとする地域の食文化の普及啓発活動、料理コンクールの開催や若手食育リーダーの育成・支援に取り組んだ。

また、県内に向け県産農林水産物の魅力を発信することにより更なる地産地消を推進するため、地産地消協力店と連携し、県産品の消費拡大や消費者への情報提供などに積極的に取り組んだ。

(もうかるブランド推進課)

3 マーケットを『拓く』－需要拡大に向けた販売力強化－

(1) 進化するとくしまブランドの展開

もうかる農林水産業の実現を図るため、「進化する・とくしまブランド戦略」に基づき、首都圏、関西、県内、海外の各市場の実情に応じた最適な販売戦略を展開し、戦略的な首都圏展開に取り組んだ。

また、各市場を横断する取組みとして「とくしまブランド推進機構」によるマーケットイン型の生産・販売振興、東京・渋谷に展開する「ターンテーブル」や2台の「PR車両」の活用、航空貨物を利用した新物流システムの実装など、あらゆる「推進ツール」をフル活用し、ブランド構築を図るとともに、「阿波ふうど繁盛店」との連携によるメニューフェアを開催し、「徳島の食」の魅力を発信することにより、本県の豊かな食「阿波ふうど」の認知度向上と販売拡大に取り組んだ。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により県産農林水産物の消費に影響が及ぶ中、県産品の需要拡大を図るため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、ECサイトを活用した県産品のプロモーション活動や首都圏での消費拡大を図る取組み等を実施した。
(もうかるブランド推進課)

(2) 6次産業化の促進

県産農林水産物に新たな付加価値を生み出し、消費拡大や需要創出を図るため、6次産業化や農工商連携に向け、生産者と流通関係事業者、食品加工事業者等とのネットワーク構築を支援するとともに、市町村や大学、金融機関等と連携し、新商品開発の支援や首都圏での販路開拓等に取り組んだ。

また、オープンラボ機能を備える「六次産業化研究施設」の活用を促進し、生産者や大学生等による加工品の開発を支援するとともに、6次産業化人材の育成を図った。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課、農林水産総合技術支援センター)

(3) 海外展開の促進

拡大を続けるハラル市場や新型コロナウイルスの影響による巣ごもり需要の増加等の機会を捉え、「販売ルートを『より太い幹』に育てる」、「大胆な発想と知恵で『新たな市場』にチャレンジする」、「新たな『物流ルート』を構築する」、「海外市場の開拓に取り組む『多様な主体』を育む」、「相手国の輸入規制をクリアする『輸出型園地』を育成する」の5本柱の戦略で世界の食市場にチャレンジした。

また、台湾をはじめ、東・東南アジアで展開する「県産材ショールーム」を活用し、県産材製品の魅力発信を推進した。

(農林水産政策課、もうかるブランド推進課、畜産振興課)

4 生産を『支える』－強靱な生産基盤の整備－

(1) 農業生産基盤の整備及び保全

グローバル化の進展に対応し、経営規模の拡大や水管理の省力化による高収益作物の増産、品質向上など収益性の高い経営を実現するため、ほ場の整備、農業用水のパイプライン化など、農業生産基盤の整備を推進するとともに、安定的な農業経営を支えるため、老朽化した農業水利施設等の機能診断に基づく農業生産基盤の保全に努めた。

また、農業生産の基盤である農地の利用の効率化・高度化及び有効活用を図るため、「農地中間管理機構」との連携により、規模拡大を志向する多様な担い手への農地の集積を促進した。

(農林水産政策課、農林水産総合技術支援センター、生産基盤課)

(2) 林業生産基盤の整備及び保全

森林情報の3次元化をはじめとしたICTの活用による路網計画や施業計画の省力化、森林環境譲与税を活用した「新たな森林管理システム」を市町村が円滑に推進するための支援を行うほか、森林境界の明確化や施業地の集約化を促進するとともに、生産性の向上と森林の適切な管理に不可欠な林道・林業専用道・森林作業道等の路網整備を推進した。

また、県有林化の推進や市町村有林化を支援する「徳島県公有林化等推進基金」により、水資源及び県土の保全機能の高い重要な森林の取得を推進するとともに、「保安林」及び「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「県版保安林」の指定を拡大し、水源のかん養や土砂災害の防備など森林が持つ公益的機能の維持増進を図った。

(スマート林業課, 森林整備課)

(3) 漁業生産基盤の整備及び保全

生産性が高く安全で快適な漁村づくりを行うため、漁港施設及び海岸保全施設の整備を計画的に推進した。また、漁港施設等の長寿命化や更新コストの平準化・縮減を図る対策を推進した。

さらに、環境に与える負荷の軽減や漁業被害の防止を図る掃海作業を支援するとともに、沿岸域の漁業資源を維持・増大させるため、産卵場や幼稚魚の育成場として重要な役割を果たす藻場の造成を推進した。

(生産基盤課)

(4) 南海トラフ・直下型地震への対応

「『とくしまー0作戦』地震対策行動計画(徳島県南海トラフ・活断層地震対策行動計画)」に基づき、海岸保全施設の調査、補強・整備や農業用ため池の整備、農業水利施設の長寿命化・耐震対策、農林道の整備による緊急輸送ネットワークの確保対策等を推進した。

また、南海トラフ巨大地震による津波や内陸部の直下型地震により甚大な被害が想定される農地や土地改良施設などにおいて、被災後、速やかに営農を再開できるよう、「農業版BCP(業務継続計画)」の実効性の向上を図るとともに、復旧・復興の迅速化に向けて、「津波浸水地域」や「中央構造線関連地域」など防災・減災対策関連の「重点エリア」における地籍調査を一層促進した。さらに、「県漁業版BCP」に基づき、漁業関係団体におけるBCP作成の支援を行うとともに、関係市町や漁協等と連携し、海上避難訓練により漁業者の安全確保対策の向上を図るなど、大規模災害に備えた事前復興を推進した。

(水産振興課, 農山漁村振興課, 生産基盤課, 森林整備課)

(5) 自然災害等への対応

台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害の防止、風倒木対策、農業用ため池の防災対策、流木や地すべり、高潮による被害の軽減を図るため、治山施設や海岸保全施設の整備を実施するとともに、危険箇所の日常点検等を推進し、ハード・ソフト両面からの計画的な防災・減災対策による農山漁村地域の強靱化に取り組んだ。

(生産基盤課, 森林整備課)

5 地域を『守る』 —活力と魅力にあふれた農山漁村の創出—

(1) 多様な主体による協働活動と農林水産業への参画

県民等が農林水産業に関する理解を深められるよう、体験や学習の場を提供するとともに、農山漁村地域での協働活動を促進した。

また、県、市町村、林業団体をはじめボランティアや企業が参画する「とくしま森林づくり県民会議」による県民総ぐるみの森林づくりを推進した。

(スマート林業課, 農山漁村振興課)

(2) 移住・定住に向けた都市農村交流の促進

農山漁村が持つ豊かな「自然」や「食」を活用し、農山漁村の活性化を図るため、「むらのたから」認定地域における魅力ある地域資源を磨き上げ、情報発信するとともに、とくしま農林漁家民宿等による「農泊」の推進や、旧果樹研究所を活用したかんきつ人材の育成と地域内外のにぎわい交流を推進する新たな拠点の開設により、都市と農山漁村の交流を促進した。

また、企業・大学・NPO法人等の「農山漁村（ふるさと）協働パートナー」と「農山漁村の地域住民」との協働活動を通じて交流の促進を図った。

(鳥獣対策・ふるさと創造課，農林水産総合技術支援センター，農山漁村振興課)

(3) 中山間地域等への支援

集落ぐるみで地域農業を支え、耕作放棄の防止や多面的機能の確保を図るため、「日本型直接支払制度」を効果的に活用するとともに、住民自らが行う地域資源を活用した「将来ビジョン」の作成から実践までのパッケージでの支援や、地域の実情に応じた生産基盤と生活環境の一体的な整備を行い、魅力ある地域づくりを推進した。

また、棚田地域振興法の施行を契機に、「地域の宝・棚田」が恒久的に維持されるよう関係機関と連携し、地域の振興施策を推進した。

さらに、徳島の林道に関する交通規制情報や林道マップなどを発信する「とくしま林道ナビ」を充実させ、多様化する利用者のニーズにワンストップで応えることで林道利用の推進を図り、中山間地域の活性化につなげた。

(鳥獣対策・ふるさと創造課，農山漁村振興課，森林整備課)

(4) 鳥獣による被害の防止

野生鳥獣による農作物等の被害対策をより効果的に進めるため、地域における指導的役割を担う人材の育成や被害ゼロ集落の県下全域への普及など、集落対策を軸とした防護対策を推進するとともに、若手を中心とした狩猟者の育成・確保や関係機関との連携による生息状況等の調査・分析を進め、捕獲対策を強化した。

また、捕獲したシカやイノシシをジビエとして利活用する取組みについて、捕獲から消費まで一貫した総合的な対策を推進した。

(鳥獣対策・ふるさと創造課)

(5) 地球環境の保全への貢献

農山漁村地域の活性化を図るため、地域に豊富に存在する小水力、太陽光などの自然エネルギーを活用した発電施設の導入や、バイオマスの有効利用を検討・促進した。

また、生産活動によって発生した使用済み農業用フィルムの安定的な処理体制の確立や、農業者（排出者）への意識啓発に努めた。

さらに、豊かな森林資源を守り育て、自然の恵みを将来にわたって享受できるよう、伐採から造林・保育の「森林サイクル」を確立し、森林による二酸化炭素の吸収を促進した。

(畜産振興課，スマート林業課，農林水産総合技術支援センター，農山漁村振興課，森林整備課)

(6) 地球温暖化への対応

気候変動による影響を回避・軽減するとともに、温暖化を効果的に活用するため、高温耐性を持つ水稻品種「あきさかり」や高水温に強いワカメ等の新品種の導入促進、熱帯性果樹の導入に向けた低コスト栽培等の技術開発など「適応策」に取り組んだ。

あわせて、二酸化炭素の吸収源となる森林を健全に育成するための間伐、再造林などの森林整備をはじめとする「緩和策」に取り組み、これらを両輪として、気候変動を迎え撃ち、「強靱でしなやかな農林水産業」の実現を図った。

また、台風や集中的な豪雨による災害の未然防止のため、農業水利施設、農業用ため池及び治山施設の整備・保全、海岸保全施設の嵩上げなどを推進した。

(農林水産総合技術支援センター，生産基盤課，森林整備課)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
1 人を『育む』		
(1) 農林水産業の担 い手育成及び確 保	とくしま農林水産未来人 材スクール魅力発信事業	農業、林業、漁業が一体となり、新規就業を支援する「とくしま農林水産未来人材スクール」において、農林水産業の魅力や各アカデミーの研修内容の動画をSNSを通じて広く発信するとともに、研修内容の充実を図り担い手の就業をサポートした。 (966)
(2) 農業の担い手育 成及び確保	農業近代化資金融資事業	農業者等の経営の近代化を図るため、農業近代化資金を融資した融資機関に対して利子補給を行った。 (22,156)
	農業の多様な働き方支援 事業	担い手の減少と高齢化が進む本県農業の更なる活性化と発展のため、新たな労働力として期待される外国人材、障がい者、アクティブシニア等の活躍を促進するため、専門家による「農業担い手コンシェルジュ」を開設し、雇用する側の支援の充実を図るとともに、技術習得の支援や研修会等を実施した。 (4,219)
	農業人材力強化総合支援 事業	次代を担う農業者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農前の研修を後押しする資金及び就農直後の経営確立を支援する資金を交付した。 (310,664)
	次代を担う農業人材・経 営体育成事業	就農希望者の円滑な就農を図り、次代の担い手として育成・確保するため、農業現場でのインターンシップを実施するとともに、農業法人等が実施する実践的な技術研修を支援した。 (23,220)
	女性が変わる未来の農山 漁村づくり事業	次代を担う女性農業者の活躍促進やスキルアップを図るため、農業女子会を開催するとともに、女性が取り組む新たな農業ビジネスへのチャレンジを支援した。 (1,700)
	農業経営者サポート事業	認定農業者、農業法人等の経営意欲のある農業者が創意工夫を活かした農業経営の展開を図るため、農業経営相談所が行う農業経営の法人化の促進や専門家派遣による経営改善活動への支援を行った。 (5,851)
	農村青少年活動促進事業	農業への理解や就農への意欲を高め、地域農業の担い手としての資質向上を図るため、農業大学のオープンキャンパスを開催するとともに、農村青少年グループや青年農業士の活動を支援した。 (762)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(3) 林業の担い手育成及び確保	アグリビジネスアカデミー運営費	農業のスマート化に対応できる人材を育成するため、就農を予定している社会人や生産技術を高めたい農業者を対象に「徳島かんきつアカデミー」や「施設園芸アカデミー」などを開講し、農業生産技術の基礎から実践に至る幅広い研修を実施した。 (8,573)
	とくしま林業アカデミー事業	新たな林業の担い手を確保するため、「とくしま林業アカデミー」の運営を支援するとともに、県内高校生等への啓発活動やUIターンによる人材確保を行った。 (59,829)
	集まれ！山の学舎フォレストキャンパス事業	小・中・高・大学生の「職業としての林業」を意識付けるため、「フォレストキャンパス」を活用して、出前授業や林業体験を実施した。 (2,169)
	来たれアクティブ・シニア植林隊事業	県内の森林を健全な状態に保つため、元気なシニアの方を対象に造林の担い手となってもらうための育成・実践研修を実施した。 (2,970)
	主伐時代の経営体育成事業	主伐時代に向けた林業事業体の育成を図るため、経営診断等による体質改善を促すほか、現場指導者に対し、若手就業者に関するメンタリングマネジメント研修を実施した。 (1,980)
	とくしま林業リカレント支援事業	若手就業者と熟練者の世代交代をスムーズに進めるにあたり、早急にスキルアップを図る必要があるため、就業者を対象に、素材生産に必要な技術の習得を段階的に進め、高度な技術者の育成・増加を図った。 (10,522)
	もっと木にして子育て支援事業	県産材利用促進条例に則して木育の普及を図るため、木育拠点モデル施設として運営し、木育の普及啓発活動を行うことで、県産材の利用拡大につなげた。 (3,997)
	フォレストサイエンス人材育成事業	高度な知識と技術を備えた林業人材の育成を図るため、木材利用創造センターにおいて、林業の現場に必要な資格の取得及び専門的な知識や技術を習得するための研修を実施した。 (9,577)
(4) 水産業の担い手育成及び確保	漁業金融指導事業	漁業者等に対し金融機関が行う長期かつ低利の資金の融通を円滑にするため、利子補給を行い、漁業者等の経営の近代化や漁業生産の中核的担い手の育成を図った。 (9,401)
	とくしま漁業アカデミー運営事業	浜を支える意欲ある担い手を育成・確保するため、誰もが漁業を学べる「とくしま漁業アカデミー」の運営を支援した。 (10,282)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(5) 農林水産関係団体の組織強化と指導の実施	人づくり革命・漁業リカレント事業	水産業の成長産業化に向け、次代の浜を担う人材育成を図るため、「とくしま漁業アカデミー」卒業生の早期独立を促すアフターフォローや就業間もない青年漁業者の経営安定化に向けた支援を行うとともに、新規就業者からベテラン漁業者まで、就業段階に応じた研修を実施した。 (8,372)
	農業協同組合指導費	農業協同組合等の健全な発展を図るため、農業協同組合等の組織体制の強化や、事業運営の適正化に向けた指導・監督を行った。 (699)
	森林組合育成指導費	林業の中核的担い手として森林組合を育成するため、指導や研修を行った。 (1,100)
	水産業協同組合指導費	漁協の経営基盤の強化を図るため、水産関係団体と連携して、漁協の財務調査及び経営計画の策定指導を行うとともに、事業統合や合併等への取組を支援した。 (31)
	次世代へつなぐ水土里ネット創造事業	土地改良区（愛称：水土里ネット）の次世代育成や体制強化を図るため、「あわ水土里女性の会」などの活動支援を通じて、女性や若手の役職員候補を育成するとともに、老朽施設の長寿命化による財務基盤の強化や合併・事務統合を推進した。 (3,172)
2 生産を『増やす』		
(1) 水田農業の振興	農山漁村未来創造事業	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (53,464)
	経営所得安定対策等推進事業	経営所得安定対策の円滑な実施を図るため、地域農業再生協議会等が行う制度周知、作付面積の確認、水田台帳の管理業務等を支援した。 (54,878)
	県産米流通・拡大サポート事業	「あきさかり」の消費の拡大・定着化を図るため、県内外でのPR活動を展開するとともに、地酒ブランド「阿波十割」の消費拡大による酒米産地の振興を推進するほか、水稻種子の安定供給に向けた産地体制の強化を図った。 (3,538)
	競争に打ち勝つ！徳島新たな米づくり展開事業	水田農業を核とした農業者等の経営安定を図るため、ブランド米づくり、作業効率化や低コスト化を可能にするスマート農業技術の実証・普及を図るなど、徳島ならではの米づくりを推進した。 (795)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(2) 園芸農業の振興	農山漁村未来創造事業 (再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (85,760)
	新型コロナ対策農林漁業者総合支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた農業者に対し、国・県の各種支援策の情報提供や申請に対するサポートを行うことにより、総合的な支援を行った。 (2,450)
	新型コロナ対策農林漁業者緊急支援事業	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた農業者に対する資金の融通を円滑にするため、融資機関に対し利子補給を行うとともに、特に経営状況の厳しい農林漁業者に給付金を支給することで、緊急支援を行った。 (16,678)
	園芸産地総合リノベーション事業	本県園芸産地の生産振興を図るため、主要品目ごとの栽培技術、出荷調整作業及び物流に係る課題解決のための取組の実施により、園芸産地リノベーションを推進し、園芸品目の生産拡大を図った。 (12,334)
	藍増産事業	すくも用タデ藍の増産を図るため、農機メーカー・藍師と連携して開発した藍の収穫作業の省力化や効率化に向けたタデ藍専用収穫機の導入支援を実施した。 (3,105)
	野菜経営安定対策事業	生産者の経営に及ぼす影響を緩和し、次期作の確保と消費者への野菜の安定供給を図るため、対象市場において主要な野菜の価格が著しく低落した場合に、生産者に対して価格差補給金を交付した。 (150,399)
	県高収益作物次期作応援事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い販売額が低下する中、高収益作物（「ハウスすだち」、「ハウスゆず」）を栽培する産地の維持発展を図るため、生産・流通コストの削減や品質向上など、生産体制強化に向けた次期作の取組に対して支援を行った。 (49,648)
	県産花きの需要喚起応援事業	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の冷え込みや販売額が低下する中、県産花きの需要喚起を図るため、県の公共施設や駅、空港、大型商業施設等を活用し、フラワーアレンジメントなどの展示及びPRを実施した。 (6,000)
(3) 畜産業の振興	農山漁村未来創造事業 (再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (63,383)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	「とくしま三ツ星ビーフ」販路拡大強化事業	経済のグローバル化に対応し、畜産業の競争力強化を図るため、全国初となる「畜産GAP」の認定取得を要件とした「とくしま三ツ星ビーフ」の国内外での販路拡大を強化した。 (6,366)
	“一步先行く阿波の畜産”GAP&HACCPチャレンジ加速事業	本県畜産物の更なるブランド化や販路拡大を図るため、「GAP&HACCP」の認証取得やグローバル化を見据えた販路拡大等、生産者の意欲的なチャレンジを支援した。 (1,200)
	「阿波とん豚」増産・流通システム確立事業	本県養豚産業の活性化を図るため、「阿波とん豚」を「豚熱」等家畜伝染病から回避するための措置として、精液及び受精卵を凍結保存することによる危機管理対策を行うとともに、阿波とん豚及び加工品のPRグッズを作成し、阿波とん豚の流通促進及び知名度向上を図った。 (2,270)
	「次代へつなぐ！とくしまの畜産」ブランド化推進事業	グローバル化の進展に備え、県内畜産のブランド化や規模拡大・経営転換を推進するため、経営診断や指導、助言を実施した。 (586)
	肉用牛肥育経営安定対策担い手支援事業	肉用牛肥育農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成等を行った。 (9,290)
	肉用子牛価格安定事業	肉用子牛生産農家の経営安定を図るため、肉用子牛価格の低落時に補給金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (2,472)
	養豚経営安定対策担い手支援事業	養豚農家の経営安定を図るため、収益悪化時に補てん金を交付する制度において、生産者積立金の造成に係る負担額への助成を行った。 (5,296)
	中規模酪農経営改善推進事業	中規模酪農家の収益力を強化するため、受精卵移植技術を活用した和子牛生産の定着と人工哺育・育成技術の高度化を図るとともに、牛群検定の普及を推進した。 (1,611)
	「とくしま畜産」海外展開促進事業	「経済のグローバル化」が加速する中、本県畜産物が海外畜産物との競争に打ち勝つため、「海外輸出に向けた取組」や「家畜衛生対策」を強化することにより、海外展開を加速化させた。 (5,124)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	家畜改良総合対策推進事業	酪農家や肉用牛農家の経営安定を図るため、受精卵移植技術を活用した牛の育種改良を推進するとともに、関係機関が連携し、受精卵の生産から移植、産子登録まで一貫した支援を行った。 (4,542)
	自給飼料増産推進指導費	自給飼料基盤に立脚した畜産経営の育成を図るため、自給飼料増産・新技術の普及等を通じて、自給飼料の増産を推進した。 (227)
	畜産バイオマス利活用推進事業	畜産経営における環境汚染の防止を図り、健全かつ安定的な畜産経営に資するため、総合的な指導を行った。 (518)
	畜産バイオマス利活用整備事業（食鳥副産物有効利用促進事業）	県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 (23,204)
	和牛肉等学校給食提供推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「和牛肉等」の需要喚起を図るため、希望する小中学校等に、通常の学校給食では提供が困難な「和牛肉等」を提供することにより、県内消費と児童・生徒等の食育を推進した。 (74,056)
	輸出向け畜産物製造施設等緊急整備事業	新型コロナウイルス感染症収束後の海外マーケットの回復を見据え、ハラル圏等有望市場への輸出拡大を図る食肉処理施設の機能強化に係る施設整備を支援した。 (4,368)
	「阿波尾鶏」学校給食提供推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた「阿波尾鶏」の需要喚起を図るため、希望する小中学校等に、通常の学校給食では提供が困難な「阿波尾鶏」を提供することにより、県内消費と児童・生徒等の食育を推進した。 (26,000)
	県畜産物活用型経済活性化事業	新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛に伴う、外食産業等の消費減退に対し、県産ブランド畜産物の「阿波尾鶏」及び「阿波とん豚」について、県内飲食店や大消費地の民間事業者等と連携し、需要喚起を図り、新たな販路を開拓するとともに、県産畜産物のブランド力向上につなげた。 (112,742)
(4) 林業及び木材産業の振興	農山漁村未来創造事業（再掲）	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (38,920)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	新型コロナ対策農林漁業者総合支援事業（再掲）	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた林業者に対し、国・県の各種支援策の情報提供や、申請に対するサポートを行うことにより、総合的な支援を行った。 (2,794)
	新型コロナ対策農林漁業者緊急支援事業（再掲）	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた林業者に対する資金の融通を円滑にするため、融資機関に対し利子補給を行うとともに、特に経営状況の厳しい農林漁業者に給付金を支給することで、緊急支援を行った。 (4,711)
	林業成長産業化徳島モデル創出事業	国から「林業成長産業化地域」の指定を受けた県南部地域において、県産材の生産増大につなげるため、エリアを越える円滑な流通と利用拡大を推進し、地域モデルの創出を支援した。 (9,501)
	林業機械サポートセンター事業	県産材の増産を担う新たな人材の確保・育成を図るため、独立・起業や経営拡大を目指す林業事業体に対し、リースやレンタル方式による高性能林業機械の導入を支援した。 (14,000)
	林業成長産業化推進事業	林業プロジェクトで取り組む県産材生産量の倍増を達成するため、主伐を見据えた高性能林業機械の導入や効率性の高い作業路網の整備を進め、県産材の増産体制を構築した。 (658,912)
	山の仕事を守るコロナ対策緊急支援事業	滞留原木の増加による原木単価の低迷及び林業従事者の離職を回避するため、作業道の開設、集材用架線の設置、木材集積用土場の設置、ドローンによる森林調査等、新型コロナウイルス感染症の収束後の速やかな木材生産活動再開に向けての施設整備等を実施した。 (49,920)
	滞留原木緊急対策事業	県内で滞留する原木の早期解消を図るため、対応策の協議、滞留原木解消計画の作成を実施したほか、ストックヤードを設け運賃の助成などを実施した。また、滞留原木を輸出など新たな販路を開拓し販売した。 (57,596)
	森林資源3Dデータ構築事業	森林所有者情報や土地の境界情報を効率的に整備し、作業道や林道などの路網計画や施業計画を省力化するため、既存データ等を活用したGISデータの3次元化を推進し、効率化と精度向上を図った。 (9,999)
	東京オリ・パラ「徳島すぎ」レガシー創出事業	首都圏における「徳島すぎブランド」の販路拡大を図るため、製材JASの取得推進や、商流・物流を熟知し、情報ネットワークを有する「徳島すぎブランドエージェント」による営業活動を実施した。 (748)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	もっと木にして子育て支援事業（再掲）	<p>県産材利用促進条例に則して木育の普及を図るため、木育拠点をモデル施設として運営し、木育の普及啓発活動を行うことで、県産材の利用拡大につなげた。</p> <p style="text-align: right;">(3,997)</p>
	「徳島木のおもちゃ美術館（仮称）」整備推進事業	<p>木育の推進による県産材の魅力発信拠点となる「徳島木のおもちゃ美術館」の開館に向け、整備の推進や什器の製作を進めた。</p> <p style="text-align: right;">(117,308)</p>
	大径原木加工施設整備緊急対策事業	<p>大径化する県内の森林資源を有効活用するため、木材加工流通施設等の整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(66,500)</p>
	仮設住宅県産材活用モデル事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、住宅向け製材品を活用した、「板倉構法」仮設住宅モデルを作成した。</p> <p style="text-align: right;">(12,631)</p>
	滞留建築資材緊急対策事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による人流抑制により、住宅着工が停滞する中、中小製材工場の滞留資材を解消するため、プレカット工場とのマッチングを行った。</p> <p style="text-align: right;">(16,555)</p>
	森林基盤整備事業	<p>「林業プロジェクト」を推進し、山村地域の活性化を図るため、適正な森林整備や効率的な木材生産の基盤となる林道を整備した。</p> <p style="text-align: right;">(2,654,383)</p>
	県単独林道事業	<p>林業の効率的な経営と山村地域の振興に資するため、小規模な林道の開設・改良等の助成及び施設整備を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(78,246)</p>
(5) 水産業の振興	農山漁村未来創造事業（再掲）	<p>グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(11,839)</p>
	新型コロナ対策農林漁業者総合支援事業（再掲）	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた漁業者に対し、国・県の各種支援策の情報提供や、申請に対するサポートを行うことにより、総合的な支援を行った。</p> <p style="text-align: right;">(2,553)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	新型コロナ対策農林漁業者緊急支援事業（再掲）	新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けた漁業者に対する資金の融通を円滑にするため、融資機関に対し利子補給を行うとともに、特に経営状況の厳しい農林漁業者に給付金を支給することで、緊急支援を行った。 (14,957)
	資源管理型漁業推進事業	水産資源の保全と漁業経営の安定を両立させる資源管理型漁業を推進するため、漁獲情報の収集や資源動向を把握するための調査等を実施した。 (2,072)
	種苗生産施設管理費	放流種苗を計画的に生産・確保するため、種苗生産施設の運営、管理を行った。 (135,752)
	浅海内水面増殖対策費	河川における重要魚種であるアユの資源維持・増大を図るため、漁業者が行う種苗放流に対し支援を行った。また、カワウによるアユなどの水産上重要な魚種に対する被害を防止するため、漁業者等が行う状況調査及び防除対策等の取組を支援した。 (3,113)
	水産エコラベル認証取得促進事業	広がりを見せる「エシカル消費」を視野に入れた生産活動を促進するため、環境などに配慮し生産された水産物であることを証明する「水産エコラベル」の認証維持を支援した。 (344)
	魚づくり革命・もうかる養殖魚創出事業	新たな「徳島ブランド」を創出するため、温暖化に適応した南方系の高級魚であるキジハタを対象に新たな養殖技術の開発・導入に取り組んだ。 (4,050)
	鳴門わかめブランド力強化事業	鳴門わかめの産地偽装の再発防止とブランド力強化のため、加工段階における産地判別検査の強化や県内外における「鳴門わかめ認証制度」のPR等を実施するとともに、生産過程で発生する「わかめ残渣」を有効活用するための実証試験を実施した。 (1,414)
	資源管理型漁業緊急支援事業	漁獲量の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、厳しい局面にある漁業関係者の事業の継続と持続可能な漁業の実現を図るため、ハモ、アワビを対象とする「標識放流」や「漁獲データの収集」等を実施し、新たな「資源管理漁業」のモデルケースを構築するとともに、漁業関係者の事業継続を支援した。 (19,304)
	「海の幸」販売促進緊急対策事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による「魚価の下落」「在庫の滞留」等により、厳しい局面にある漁業関係者の事業継続を図るため、県産水産物の「需要喚起」に向けた学校給食への食材提供や緊急的な「販売促進活動」等を支援した。 (91,197)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(6) オープンイノベーションの加速	鳴門わかめ認定事業者緊急支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による「糸わかめ」の在庫を抱える認定事業者の事業継続を図るため、「鳴門わかめ認定事業者」が抱える「糸わかめ」在庫を活用した試供品を製造・配布し、認定事業者の事業継続を支援するとともに「鳴門わかめ認証制度」の更なる浸透を図った。 (10,000)
	届け「海の幸」需要回復推進事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響より、価格の下落や需要の減退に見舞われた県産水産物の需要喚起を図るため、学校給食への食材提供や緊急的な「販売促進活動」等を支援した。 (20,800)
	農林水産物の増産や販売力強化を支える研究開発事業	農林水産業の成長産業化を技術面から支えるため、生産現場の課題やニーズを的確に把握し、新たな技術や品種の開発を行った。 (11,050)
	生産性革命を実現する徳島スマート農林水産業展開事業	作業の省力化や生産性の飛躍的な向上を図るため、IoT・AI等の先端技術を活用した新技術の開発を行うとともに、地域資源を活用した高付加価値化のための技術開発や新産業の創出に取り組んだ。 (15,055)
	気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト	地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品种・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 (10,610)
	県有種雄牛造成体制整備事業	県有種雄牛の造成による「阿波牛」の増産体制を構築するため、新たな種雄牛候補牛の導入、遺伝的能力の検定に向けた子牛の生産、受胎率向上技術の研究等を行った。 (2,489)
	現場課題トータルサポート実装促進事業	多様化・高度化する生産現場の課題に対応するため、産学官連携により、現場ニーズに即した円滑な技術開発を行うとともに、技術の普及を推進するための現場実証を実施した。 (3,570)
(7) 安全・安心な食料の安定的供給	とくしまエシカル農産物GAP等ステップアップ支援事業	SDGsの達成に貢献する農産物の需要にいち早く対応する産地づくりを目指すため、生産者の国際水準GAPの取得を支援するとともに、有機農業や特別栽培を推進し、とくしまエシカル農産物の生産を拡大した。 (9,858)
	病害虫総合防除推進事業	農薬の適正使用を推進するため、農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及・啓発を行うとともに、化学農薬のみに依存しない総合的病害虫雑草管理（IPM）技術を推進し、農業生産の安定化と環境負荷低減を図った。 (2,391)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	持続可能な農業づくり対策事業	<p>土壌分析や肥料の品質の確保等に関する法律の適切な運用を通じて、有機質資源の循環利用を基本とした土づくりと、化学肥料や化学農薬の使用量を少なくした環境にやさしい農業を推進した。</p> <p>(1,736)</p>
	環境保全型農業支払事業	<p>地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い環境保全型農業を推進するため、化学肥料や化学合成農薬を5割以上低減する取組に対して支援した。</p> <p>(12,457)</p>
	安全安心スマート農業推進事業	<p>担い手の確保と生産力強化を図るため、新機能を有した農業用機械等の技術展示と農作業安全運動の強化に取り組むことで、農業者の適切なリスクマネジメントの実践を支援した。</p> <p>(962)</p>
	徳島県産業動物獣医療安定確保推進事業	<p>獣医療法に基づき本県産業動物獣医療の安定的確保を図るため、家畜保健衛生所職員の診療業務に係る技術習得等診療体制を整備した。</p> <p>(1,724)</p>
	徳島県獣医師職員養成・修学資金貸与等事業	<p>本県の家畜防疫対策や食の安全性確保対策等、重要な役割を担う獣医師職員を確保するため、獣医学生に対する修学資金の貸与を実施した。</p> <p>(1,209)</p>
	家畜伝染病予防事業	<p>高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防及びまん延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づき、検査等を実施した。</p> <p>(11,030)</p>
	病性鑑定機能強化事業	<p>家畜伝染病等による経済的損失を最小限に抑えるため、各種疾病を迅速かつ的確に診断するとともに、今後の発生予防など家畜防疫対策の指標とした。</p> <p>(4,891)</p>
	牛海綿状脳症検査事業	<p>牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、BSEの発生予防及びまん延防止を図り、安全な牛肉を供給するため、96ヶ月齢以上の死亡牛全頭についてBSE検査を実施した。</p> <p>(4,685)</p>
	海外悪性伝染病防疫対策強化事業	<p>海外悪性伝染病の侵入とまん延を防止するため、国と連携した検疫キャンペーンの拡充などの水際対策や野生鳥獣監視対策を強化するとともに、発生時の即応体制を強化した。</p> <p>(6,685)</p>
	高病原性鳥インフルエンザ緊急対策事業	<p>県内で初めて高病原性鳥インフルエンザが発生したことを受け、発生農場における鶏の殺処分や消毒等適切な防疫措置を実施し、懸念される同病のまん延を防止した。</p> <p>(365,782)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	家畜保健衛生所事業費	<p>家畜保健衛生所法に基づき、検査等を実施することにより、各種伝染病等の実態を明らかにし、また衛生指導を実施し、家畜衛生の向上を図った。また、県内で初めて高病原性鳥インフルエンザが発生したことを受け、発生農場における鶏の殺処分や消毒等適切な防疫措置を実施し、懸念される同病のまん延を防止した。</p> <p style="text-align: right;">(147,293)</p>
(8) 食育・地産地消の推進	もっと！とくしまエシカル農産物消費拡大・食育推進事業	<p>とくしまエシカル農産物の消費拡大を進めるため、消費者に価値や意義を伝え、その認知度を向上し、選ばれる農産物となることで、持続性の高い農業の拡大と健康的で安全・安心な食文化を未来に継承した。</p> <p style="text-align: right;">(1,176)</p>
3 マーケットを『拓く』		
(1) 進化するとくしまブランドの展開	阿波ふうど新規販売チャネル開拓事業	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、需要が高まるECサイト等を利用した新たな販売チャネルを開拓するため、ECサイトを活用した販売促進活動と県産品のプロモーション活動を展開するとともに、生産者が既存のweb産直を容易に活用できるようにするため、相談窓口の設置やこだわり農産物を活用した企画商品の開発を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(7,950)</p>
	進化する・とくしまブランド戦略事業	<p>「進化する・とくしまブランド戦略」の実現を図るため、首都圏の大手百貨店や大規模イベントなどでの集中的PRや、飲食店ネットワークの構築、関西の実需者に向けた販売拡大PRなど、市場に合わせた戦略的なプロモーション活動を展開した。</p> <p style="text-align: right;">(8,200)</p>
	阿波ふうど消費地プロモーション進進事業	<p>首都圏における飲食店等の実需者を通じたブランディング及び関西市場における県産品の販売を維持拡大するため、それぞれの実情やニーズに応じた生産及び流通のフォローアップ並びに販売対策を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(6,045)</p>
	「とくしまブランド推進機構」展開事業	<p>マーケットイン型の産地づくりと県産品の販路拡大を加速するため、生産・流通・販売をトータルサポートする「とくしまブランド推進機構」の安定的な活動を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(34,270)</p>
	ターンテーブル魅力発信事業	<p>首都圏における徳島の魅力発信や県産品の販路拡大を図るため、施設管理者から建物を借受し、徳島の食をテーマとした「情報発信と交流の拠点」として、施設の安定的かつ効果的な運営を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(46,293)</p>
	WITHコロナに向けたターンテーブル対応強化事業	<p>ターンテーブルにおいて、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策と消費者の行動変容を踏まえたアンテナショップとしての機能を維持するための施設整備を行った。</p> <p style="text-align: right;">(50,000)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	県産品消費維持確保対策事業費	新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う、外食需要等の落ち込みにより、県産食材の消費低迷が続く中、国内最大の消費地である首都圏での消費拡大及び販路拡大を図るとともに、アフターコロナに向けた飲食店等における新たな需要拡大につながる取組を実施した。 (40,687)
	阿波ふうど機動力発揮ブランディング事業	県内外で県産品の認知度向上と販路拡大を加速するため、2台のPR車両の機動力と調理能力を活かした「攻めのプロモーション活動」を展開した。 (15,037)
	「阿波ふうどツーリズム」食の魅力発信事業	「徳島の食」の魅力や価値を再認識して県内外へその魅力を発信するため、「阿波ふうど繁盛店」と連携したメニューフェアを開催し、ツーリズム実現に向けた県内機運の醸成を図った。 (2,906)
	阿波ふうど新物流ブランド創出モデル事業	遠隔市場に向けた最適な物流システムの構築と県産品の有利販売・ブランド化を同時に実現するため、航空貨物やモーダルシフトなど新物流システムのモデルを構築した。 (8,409)
	阿波ふうど高付加価値化事業	「とくしま特選ブランド」のプレミアム感を高め、販路拡大を促進することによる事業者の経営安定を図るため、商品の更なるブラッシュアップや新たな販路拡大を支援した。 (1,512)
	阿波ふうどスペシャリスト事業	徳島の食「阿波ふうど」の魅力や価値に共感するファンを全国に拡げるため、情報発信サポーターである「阿波ふうどスペシャリスト」の拡大や積極的な活動と交流を促進した。 (2,287)
(2) 6次産業化の促進	農山漁村未来創造事業(再掲)	グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。 (6,167)
	徳島県食料産業・6次産業化交付金事業	6次産業化に意欲的に取り組む経営体を支援するため、総合相談窓口を設置し、研修会の開催や専門家派遣により課題解決を促すとともに、6次産業化のための施設整備を支援した。 (35,018)
	6次産業化商品の販路開拓協働事業	6次産業化に意欲的に取り組む経営体の育成を支援するため、産学官金連携による商品開発や大規模展示会への出展を実施した。 (8,927)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(3) 海外展開の促進	藍・食藍総合推進事業	<p>藍の利用拡大を図るため、産学官連携による機能性等の研究を推進した。</p> <p style="text-align: right;">(1,000)</p>
	農山漁村未来創造事業 (再掲)	<p>グローバル化の進展に伴う農林漁業者の不安や懸念を払拭し、本県農林水産業の成長産業化を着実に進めるため、「徳島県農林水産業未来創造基金」を活用し、地域の創意工夫で課題解決を図る取組を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(29,668)</p>
	農畜水産物海外輸出ネットワーク構築事業	<p>生産者等の海外輸出への取組を後押しするため、実践的な輸出サポートをワンストップで実施する「農畜水産物等輸出サポートセンター」による支援を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(841)</p>
	とくしまブランド海外プロモーション事業	<p>輸出戦略で「重点国・地域」に位置づけているアジアでの県産農林水産物等の更なる需要拡大を図るため、品目・PRターゲットを重点化したプロモーションを展開した。</p> <p style="text-align: right;">(3,302)</p>
	成長するASIAを拓け！「輸出ハイウェイ」展開事業	<p>重点品目の輸出量拡大を図るため、重点市場において、小売店でのフェアの開催や、アッパーミドル層などをターゲットとした販路開拓に取り組んだ。</p> <p style="text-align: right;">(11,761)</p>
	GIを活用！EU「とくしま三大香酸かんきつ」需要拡大事業	<p>日EU・EPAの発効により更なる輸出拡大が見込めるEUにおいて、地理的表示保護制度(GI)に登録された「木頭ゆず」をはじめ、「すだち」、「ゆこう」の「とくしま三大香酸かんきつ」をリーディングブランドに、県産食材の更なる販路拡大を図るため、プロモーションを実施するとともに、星付きシェフの産地見学ツアーを実施した。</p> <p style="text-align: right;">(8,578)</p>
	グローバル化に即応！農林水産物等輸出拡大事業	<p>農林水産物の輸出拡大を図るため、「徳島ハラル商品」の売り込みや、ハラル市場にチャレンジする事業者の育成を実施するとともに、意欲ある生産者等が実施するグローバル産地計画の策定、生産体制の構築等を支援した。</p> <p style="text-align: right;">(20,477)</p>
	“稼ぎ頭”海外展開事業	<p>本県の輸出をけん引する「コメ・酒類」について、「稼ぎ頭」として輸出額の増加を図るため、品目の特性に応じたプロモーションを実施した。</p> <p style="text-align: right;">(5,788)</p>
	徳島県産海外コールドチェーン構築事業	<p>輸出拡大のボトルネックとなっている輸送コストの低減を図るため、EU向け輸送技術の確立や最適な鮮度保持技術を検証した。</p> <p style="text-align: right;">(708)</p>
	検疫クリア！輸出型園地「倍増」事業	<p>輸出相手国の検疫条件等に対応できる輸出型園地の拡大を図るため、「すだち」など、植物検疫等に適合する園地を育成した。</p> <p style="text-align: right;">(3,138)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
4 生産を『支える』 (1) 農業生産基盤の整備及び保全	「とくしま畜産」海外展開促進事業（再掲）	「経済のグローバル化」が加速する中、本県畜産物が海外畜産物との競争に打ち勝つため、「海外輸出に向けた取組」や「家畜衛生対策」を強化することにより、海外展開を加速化させた。 (5,124)
	農地売買支援事業	意欲ある担い手の経営安定を図るため、売買の手法を用いて農地の集積を推進した。 (528)
	規模拡大による「もうかる農業」サポート事業	農地利用の効率化・高度化による生産性の向上や農業経営の安定化につなげるため、「農地中間管理機構」による農地集積を支援するとともに、機構に農地を貸し付けた農業者に対して、機構集積協力金の支援を行った。 (78,718)
	とくしま耕作放棄地再生支援事業	農地の荒廃の抑制や耕作放棄地の解消を図り、地域の農地を次代へ継承するため、関係機関との情報共有を図るとともに、耕作放棄地解消の指導や関連事業などの周知・啓発活動を実施した。 (352)
	強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業	担い手の経営発展を支援するため、「人・農地プラン」における地域の中心となる農業者等が経営規模の拡大や経営の多角化に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入に対し支援を行った。 (5,331)
	担い手確保・経営強化支援事業	意欲ある農業経営体を育成するため、適切な「人・農地プラン」が作成されており、農地中間管理機構を活用している地区等において、売上高の拡大や経営コストの縮減などに取り組む地域の担い手が、融資を受けて農業経営体の発展に取り組む場合に必要な機械・施設の導入を支援した。 (14,733)
	経営体育成基盤整備事業	農業の生産性の向上を図り競争力を高めるため、地域の実情に応じたきめ細やかな農業基盤の整備を推進するとともに、農地中間管理機構と連携し、担い手への農地集積を促進することにより、次代の農業生産を担う経営体の育成を行った。 (453,671)
	広域営農団地農道整備事業	農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (1,342,573)
	地盤沈下対策事業	地下水の汲み上げ等に起因した地盤沈下により、機能低下した用排水施設の機能回復を図るため、農業用排水施設の整備を実施した。 (638,343)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	国営付帯県営農地防災事業	国営総合農地防災事業と一体で事業効果を発現させるため、関連事業として農業用排水施設等の整備を実施した。 (478,604)
	県営かんがい排水事業	農業生産の基礎となる農業用水や排水等の水利条件を整備し、水利用の安定と合理化を図るため、排水施設の整備を実施した。 (217,729)
	農業水利施設保全対策事業	既存の基幹的農業水利施設について、施設の長寿命化やライフサイクルコストの低減を図るため、施設の補修等の整備を実施した。 (913,063)
	農業水利施設保全合理化事業	既存の農業水利施設について、水利用・水管理の効率化・省力化、施設の安全性の向上を図るため、機能診断・機能保全計画策定を実施した。 (369,494)
	吉野川下流域地区国営総合農地防災事業	吉野川下流域3市5町における農業用水の水質悪化、地下水の塩水化、農業水利施設の機能低下を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、取水施設の統合(水源転換)、幹線用水路等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (1,077,517)
	那賀川地区国営総合農地防災事業	那賀川下流域における農業用水の水質保全、農業水利施設の老朽化を改善し、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、幹支線用水路、取水堰等の整備を行う国営総合農地防災事業の促進を図った。 (538,767)
	吉野川北岸二期地区国営かんがい排水事業	吉野川北岸4市3町における農業水利施設の老朽化の改善と耐震化整備を行い、良質な農業用水を安定的・効率的に供給するため、調整池や用水路等の整備を行う国営かんがい排水事業の促進を図った。 (46,542)
(2) 林業生産基盤の整備及び保全	森林環境保全整備事業	森林の持つ多面的機能の維持・増進や、生物多様性の保全を図るため、施業の集約化や路網整備などによる低コスト化を進めつつ、計画的な森林整備を実施した。 (891,776)
	公有林化推進事業	徳島の豊かな森林を次代へ引き継ぐため、基金を活用し、県有林化等の推進及び市町村有林化等への支援を実施した。 (9,288)
	とくしま「新たな森林管理システム」推進事業	平成30年5月に制定された「森林経営管理法」に基づき、森林資源の適正な管理と流動化を図るため、森林所有者や林業事業者などのニーズを一元管理する「新たな森林管理システム」の構築に向けた取組を推進した。 (23,901)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(3) 漁業生産基盤の整備及び保全	森林資源3Dデータ構築事業(再掲)	森林所有者情報や土地の境界情報を効率的に整備し、作業道や林道などの路網計画や施業計画を省力化するため、既存データ等を活用した森林の地図情報の3次元化を推進し、効率化と精度向上を図った。 (9,999)
	森林基盤整備事業(再掲)	木材の搬出コストの低減や森林の適切な管理のため、林道及び林業専用道の整備を推進した。 (2,654,383)
	県単独林道事業(再掲)	林道の機能性や利便性の向上等を図るため、国庫補助の対象とならない林道の開設、改良、舗装等の助成及び県営による施設整備を実施した。 (78,246)
	保安林整備管理事業	森林の適正管理や森林の持つ公益的機能の維持増進を図るため、保安林を計画的に指定するとともに、適正な維持管理を実施した。 (6,397)
	「とくしま県版保安林」整備管理事業	水源地域の森林の公益的機能を高度に発揮するため、「徳島県豊かな森林を守る条例」に基づく「とくしま県版保安林」に指定し、公的管理を推進した。 (3,193)
	広域漁港整備事業	円滑な漁労活動に寄与するとともに、漁港施設はもとより背後集落の防災減災対策のため、岸壁や防波堤等の機能強化を図った。 (596,215)
	水産物供給基盤機能保全事業	漁港の長寿命化対策のため、岸壁修繕工事や、突堤修繕工事の設計を行った。また、機能強化対策として防波堤の耐震化工事を行った。 (535,577)
	とくしま海岸漂着物地域対策推進事業	底引き網への混入、漁港内での漂着や滞留など、漁業活動の大きな障害である「海ごみ」の除去(回収、処分)を実施した。 (3,779)
(4) 南海トラフ・直下型地震への対応	水域環境保全創造事業	沿岸漁業の安定的な発展と水産物の供給の増大に寄与するため、藻場造成を実施した。 (119,512)
	地籍調査事業	大規模自然災害が発生した場合の「被災後の早期復旧・復興」に対応するため、「防災・減災対策関連の重点エリア」である「津波浸水地域」、「中央構造線直下型地震地域」、「山地災害地域」、「洪水浸水想定地域」における地籍調査を促進した。 (965,191)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	農業版BCP現場力強化事業	大規模災害からの速やかな営農再開を目的とした農業版BCPの事前対策である土地改良区BCPの策定を支援するとともに、実効性向上のための実地訓練を行い、土地改良区における非常時現場対応力の向上を図った。 (777)
	広域営農団地農道整備事業(再掲)	農作物や農業用資機材の効率的な運搬と農村地域の生活環境の改善に資するとともに、災害発生時の孤立集落発生の防止や、緊急輸送路を補完する農道整備を行った。 (1,342,573)
	老朽ため池等整備事業	農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため、老朽化したため池等の整備を実施した。 (557,871)
	震災対策農業水利施設整備事業	南海トラフ巨大地震等に備え、災害を未然に防止するため、ため池等の土地改良施設の現状を確認し、施設の耐震性を点検・調査するとともに、ハザードマップ等を作成した。 (293,575)
	漁港海岸保全施設整備事業	漁港海岸における「地震・津波」対策として、「徳島県海岸保全基本計画」の中で、住民の生命を守ることを最優先に、「避難時間の確保」に必要な海岸保全施設整備を実施した。また、老朽化対策として護岸修繕工事を行った。 (164,201)
	治山事業	中山間地域の生活環境の保全を図るため、台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害や流木被害の予防、水資源確保のための森林整備を実施した。 (2,796,396)
	森林基盤整備事業(再掲)	山村地域の保全を図るため、林業経営の効率化のみならず、災害時には緊急輸送路を補完する機能を併せ持つ林道の整備を推進した。 (2,654,383)
(5) 自然災害等への対応	耕地地すべり防止事業	農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (471,502)
	治山事業(再掲)	中山間地域の生活環境の保全を図るため、台風・豪雨等による荒廃林地の復旧、山地災害や流木被害の予防、水資源確保のための森林整備を実施した。 (2,796,396)
	林野地すべり防止事業	林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 (298,185)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
5 地域を『守る』	県単独治山事業	住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。 (96,702)
	治山流木緊急対策事業	流木による被害拡大を防止するため、人家等重要な保全対象の上流にある溪流内の不安定な樹木の除去を行った。 (10,570)
	国庫補助関連事業	治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。 (36,489)
	治山緊急浚渫事業	治山ダムに異常堆積した不安定土砂が、下流の保全対象に被害を及ぼす恐れがあるため、緊急的に土砂の除去を行った。 (6,813)
	「森林（もり）の番人」 ステップアップ事業	森林の適正な管理を推進するため、地域に根ざした「森林（もり）の番人」の認定と資質の向上を図り、監視・情報収集体制を強化した。 (3,568)
	山地災害危険地区緊急点 検事業	山地災害危険地区における避難路となる農林道周辺や防災重点ため池上流部等の堆積土砂・流木・倒木等の危険性に関する調査を実施した。 (19,252)
	(1) 多様な主体による 協働活動と農 林水産業への参 画	徳島森林づくり魅力発信 事業 森づくりの魅力を広く発信するため、カーボン・オフセットの仕組みを森づくりの分野に導入し、企業や県民等からの寄付金を活用し、植林や間伐等の森林整備を実施する「とくしま協働の森づくり事業」を推進した。 (4,932)
	とくしま木づかい県民運 動促進事業 県民会議の活動を広く県民に認知してもらうため、県民総ぐるみの木づかい運動を展開し、県産材の利用推進を図った。 (5,145)	
	未来へ「つなぐ！」農山 漁村（ふるさと）元気づ くり事業 農山漁村の魅力向上や活性化、住民主体の課題解決力の向上を図るため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から実践までをパッケージとして支援した。 (11,710)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(2) 移住・定住に向けた都市農村交流の促進	里山にぎわい交流スタートアップ事業	かんきつを核とした農村地域の更なる活性化を図るため、かんきつ人材育成・にぎわい交流拠点「かんきつテラス徳島」を開設し、栽培技術の伝承をはじめ、県内高校生等を対象としたフィールドワーク活動を通じ、新たな人材育成や交流に取り組んだ。 (1,130)
	とくしま農林漁家民宿等サポート事業	「とくしま農林漁家民宿」の増加を図るため、新型コロナウイルス感染症への対応やおもてなしスキル等、農林漁家民宿等のスキルアップ研修を実施し、受入体制の強化や利用者の満足度向上の取組を支援した。 (1,899)
	未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業（再掲）	農山漁村の魅力向上や活性化、住民主体の課題解決力の向上を図るため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から実践までをパッケージとして支援した。 (11,710)
(3) 中山間地域等への支援	中山間地域等直接支払事業	中山間地域において農業生産活動の継続を図るため、平坦地域との生産条件の格差を是正し、農用地の維持・保全活動を支援した。 (247,381)
	多面的機能支払交付金事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者等が行う水路・農道等の農業生産資源の基礎的保全活動や農村環境の保全、農業用施設の長寿命化のための活動を支援した。 (493,910)
	中山間地域農村活性化総合整備事業	農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農作業の省力化や生活環境の改善を図るため、農業用排水、農道など生産基盤の整備、また、集落道、営農飲雑用水の生活環境基盤整備を総合的に実施した。 (488,285)
	集落基盤整備事業	農業振興地域において、農業生産性の向上を図るため、土地改良区が実施する農業用排水施設整備を支援した。 (30,552)
	未来へ「つなぐ！」農山漁村（ふるさと）元気づくり事業（再掲）	農山漁村の魅力向上や活性化、住民主体の課題解決力の向上を図るため、企業・大学等との協働活動を促進するとともに、地域住民による「魅力創生ビジョン」の作成から実践までをパッケージとして支援した。 (11,710)
	森林基盤整備事業（再掲）	林道利用者の多様化するニーズに対応するため、ワンストップで応える「とくしま林道ナビ」の登載情報を充実させるとともに、更なる利用促進を図った。 (2,654,383)

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(4) 鳥獣による被害の防止	鳥獣被害に打ち勝つ「被害防止対策」の展開	鳥獣被害を防止するため、市町村等が行う有害鳥獣捕獲や侵入防止柵の整備等への支援や地域において被害防止対策の核となる「地域リーダー」の育成を行った。 (119,613)
	「阿波地美栄」魅力発信・消費拡大パワーアップ事業	鳥獣による農作物被害の軽減と、ジビエ利用の推進を図るため、「阿波地美栄料理レシピグランプリ」や飲食事業者等を対象とした「ジビエ料理講習会」、「商談会」の開催、ジビエ肉の規格統一に向けた「カット技術講習会」、「阿波地美栄ガイドブック」の作成、学校栄養教諭等に対するジビエ給食の啓発研修等、消費拡大に向けた取組を展開した。 (2,598)
	「阿波地美栄」供給体制強化事業	ジビエの安定供給と肉質向上を図るため、シカを捕獲・一時飼養できる最適なプログラムを検討するとともに、飼養時の死亡率を軽減する「飼育舎」の改良や一時飼養したシカの肉質分析を行った。 (5,054)
	「阿波地美栄」販売支援事業	新型コロナウイルス感染症対策の影響で販売が減少した「阿波地美栄」の消費回復と認知度向上を図るため、滞留したジビエ肉を飲食店等に供給するとともに、「阿波地美栄まつり」、「阿波地美栄パンまつり」、「阿波地美栄カフェまつり」、「阿波地美栄カレーまつり」のキャンペーンを実施した。 (8,000)
	「猪・鹿・猿 調査分析・集中捕獲」事業	イノシシ、ニホンジカ、ニホンザルによる農林業被害、人身被害などの軽減を図るため、剣山や三嶺及び県境付近での集中捕獲や、眉山周辺など市街地のイノシシ出没危険度調査などを実施した。 (29,540)
	「とくしま狩猟マイスター」への道プロジェクト事業	次世代の狩猟者を育成・確保するため、新たに狩猟免許を取得する者や狩猟免許所持者を対象に、狩猟の知識や実践的な捕獲技術に関する講座を実施した。 (4,217)
	指定管理鳥獣捕獲等事業	指定管理鳥獣（ニホンジカ・イノシシ）による農林業等への被害を防止するため、認定鳥獣捕獲事業者による捕獲を実施した。 (92,864)
	狩猟者育成確保対策事業	狩猟者による事故を防止するため、安全狩猟に関する技術講習会の開催や普及啓発活動を実施した。 (1,486)
ニホンザル適正管理事業	ニホンザルによる農林業及び生活環境への被害を防止するため、出没調査や行動域調査などを実施した。 (5,272)	

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
(5) 地球環境の保全への貢献	使用済農業資材適正処理対策事業	使用済農業生産資材の適正な処理を推進するため、県農業用廃プラスチック協議会の運営支援を行い、効率的な回収、処理体制の確立を図るとともに、排出農業者への意識啓発を行った。 <p style="text-align: right;">(942)</p>
	畜産バイオマス利活用推進事業（再掲）	畜産経営における環境汚染の防止を図り、健全かつ安定的な畜産経営に資するため、総合的な指導を行った。 <p style="text-align: right;">(518)</p>
	畜産バイオマス利活用整備事業（食鳥副産物有効利用促進事業）（再掲）	県内食鳥産業の振興と畜産環境の保全を図るため、県内で発生する食鳥副産物の適正処理・再資源化について支援した。 <p style="text-align: right;">(23,204)</p>
	県単独林業生産等支援事業	多様で豊かな森づくりを進めるため、間伐や更新伐、作業道の開設、広葉樹の植栽等への支援を実施した。 <p style="text-align: right;">(64,376)</p>
	治山事業（保安林整備事業・水源地域整備事業）（再掲）	中山間地域の生活環境の保全を図るため、手入れ不足による過密化など荒廃した森林（保安林）を整備し、森林吸収源としての機能回復・強化を図った。 <p style="text-align: right;">(302,063)</p>
	保安林整備管理事業（再掲）	森林吸収源の機能の維持増進を図るため、保安林の指定を計画的に行い、森林の適正な管理を行った。 <p style="text-align: right;">(6,397)</p>
(6) 地球温暖化への対応	気候変動に打ち克つ農林水産適応技術開発プロジェクト（再掲）	地球温暖化をはじめ気候変動に適応し、競争力のある農林水産業の実現を図るため、気候変動による影響を回避・軽減する新品種・新技術の開発や、温暖化を効果的に活用した農産物のブランド創出に取り組んだ。 <p style="text-align: right;">(10,610)</p>
	老朽ため池等整備事業（再掲）	農地及び農業用施設にかかる災害の発生を未然に防止するため、老朽化したため池等の整備を実施した。 <p style="text-align: right;">(557,871)</p>
	耕地地すべり防止事業（再掲）	農林水産省農村振興局所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。 <p style="text-align: right;">(471,502)</p>

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
	治山事業（再掲）	<p>中山間地域の生活環境の保全を図るため、山地に起因する災害の早期復旧や未然防止を目的とした対策を計画的に実施するとともに、荒廃森林（保安林）の機能回復・強化を目的とした森林整備を実施した。また、併せて危険箇所や施設の調査・点検パトロールを実施した。</p> <p style="text-align: right;">(2,796,396)</p>
	林野地すべり防止事業（再掲）	<p>林野庁所管の地すべり防止区域における地すべり被害を防止・軽減するため、各種の地すべり対策工事を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(298,185)</p>
	県単独治山事業（再掲）	<p>住民の生命・財産を守るため、国庫補助の対象とならない小規模な荒廃森林の復旧整備工事を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(96,702)</p>
	治山流木緊急対策事業（再掲）	<p>流木による被害拡大を防止するため、緊急点検の結果に基づき、流木の発生原因となる溪流内の不安定な樹木の除去を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(10,570)</p>
	国庫補助関連事業（再掲）	<p>治山施設の長寿命化対策として、国庫補助の対象とならない小規模な機能強化工事を実施した。</p> <p style="text-align: right;">(36,489)</p>

Ⅲ 歳入歳出決算額

1 一般会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	845,967,000	726,045,346	726,045,346	0	0	△ 119,921,654
もうかるブランド推進課	1,890,334,000	890,127,001	890,127,001	0	0	△ 1,000,206,999
鳥獣対策・ふるさと創造課	407,658,000	381,028,508	381,028,508	0	0	△ 26,629,492
畜 産 振 興 課	1,533,149,000	447,716,049	447,716,049	0	0	△ 1,085,432,951
ス マ ー ト 林 業 課	5,120,645,000	4,260,563,934	4,260,563,934	0	0	△ 860,081,066
水 産 振 興 課	363,072,000	220,709,104	220,709,104	0	0	△ 142,362,896
漁 業 調 整 課	10,059,000	9,805,200	9,805,200	0	0	△ 253,800
農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー	807,637,000	711,503,638	711,503,638	0	0	△ 96,133,362
農 山 漁 村 振 興 課	2,140,101,000	1,676,601,837	1,676,601,837	0	0	△ 463,499,163
生 産 基 盤 課	8,571,753,391	5,317,773,691	5,317,773,691	0	0	△ 3,253,979,700
森 林 整 備 課	6,707,757,000	4,225,745,552	4,222,582,552	0	3,163,000	△ 2,485,174,448
計	28,398,132,391	18,867,619,860	18,864,456,860	0	3,163,000	△ 9,533,675,531

(2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	2,015,884,000	1,832,232,054	17,000,000	166,651,946	183,651,946
も う か る ブ ラ ン ド 推 進 課	2,455,257,000	1,434,396,625	900,527,500	120,332,875	1,020,860,375
鳥 獣 対 策 ・ ふ る さ と 創 造 課	658,780,000	625,016,396	4,000,000	29,763,604	33,763,604
畜 産 振 興 課	2,530,435,000	1,320,958,194	1,030,000,000	179,476,806	1,209,476,806
ス マ ー ト 林 業 課	6,995,430,000	5,672,181,233	1,191,951,000	131,297,767	1,323,248,767
水 産 振 興 課	714,574,000	549,073,394	119,200,000	46,300,606	165,500,606
漁 業 調 整 課	349,135,000	336,363,635	0	12,771,365	12,771,365
農 林 水 産 総 合 技 術 支 援 セ ン タ ー	3,454,923,000	3,112,559,851	221,034,684	121,328,465	342,363,149
農 山 漁 村 振 興 課	2,979,352,256	2,227,069,161	731,348,720	20,934,375	752,283,095
生 産 基 盤 課	15,679,986,765	10,107,020,485	5,251,771,552	321,194,728	5,572,966,280
森 林 整 備 課	11,609,288,000	7,213,618,934	4,154,498,000	241,171,066	4,395,669,066
計	49,443,045,021	34,430,489,962	13,621,331,456	1,391,223,603	15,012,555,059

2 特別会計決算額
 (1)歳入決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額	予 算 現 額 と 収 入 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農業改良資金貸付金 特 別 会 計	3,160,000	33,158,706	19,054,692	0	14,104,014	15,894,692
	林業改善資金貸付金 特 別 会 計	198,000	280,106,648	275,384,246	0	4,722,402	275,186,246
	沿岸漁業改善資金 貸付金特別会計	189,000	294,441,585	294,441,585	0	0	294,252,585
	計	3,547,000	607,706,939	588,880,523	0	18,826,416	585,333,523
ス マ ー ト 林 業 課	県有林県行造林事業 特 別 会 計	203,928,000	180,924,897	180,924,897	0	0	△ 23,003,103
	港湾等整備事業 特 別 会 計	0	929,216	929,216	0	0	929,216
	計	203,928,000	181,854,113	181,854,113	0	0	△ 22,073,887
合 計		207,475,000	789,561,052	770,734,636	0	18,826,416	563,259,636

(2)歳出決算額

(単位:円)

区 分	会 計 名	予 算 現 額	支 出 済 額	翌年度繰越額	不 用 額	予 算 現 額 と 支 出 済 額 と の 比 較
農 林 水 産 政 策 課	農 業 改 良 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	3,160,000	2,943,999	0	216,001	216,001
	林 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	198,000	108,000	0	90,000	90,000
	沿 岸 漁 業 改 善 資 金 貸 付 金 特 別 会 計	189,000	131,310	0	57,690	57,690
	計	3,547,000	3,183,309	0	363,691	363,691
ス マ ー ト 林 業 課	県 有 林 県 行 造 林 事 業 特 別 会 計	203,678,000	180,640,255	0	23,037,745	23,037,745
	港 湾 等 整 備 事 業 特 別 会 計	0	0	0	0	0
	計	203,678,000	180,640,255	0	23,037,745	23,037,745
合 計		207,225,000	183,823,564	0	23,401,436	23,401,436